

(トップページ：<http://mylibrary.maedal.jp/> )

(GDP (IMF WEO)：<http://mylibrary.maedal.jp/GDP.html> )

マイライブラリー：0614

(注)本稿は2024年10月25日及び26日の2回に分けて「アラビア半島定点観測」に掲載したレポートをまとめたものです。

2024.10.28

前田 高行

## IMF 世界経済見通し(2024年10月版)：先進国は米国、開発途上国はインドが優等生

IMF(国際通貨基金)が「世界経済見通し(World Economic Outlook、October 2024)」(以下、WEO)を発表した。

本稿では今年(2024年)及び来年(2025年)の成長率を比較し、また前回4月の経済見通しに対してGDP成長率がどのように修正されたかを検証する。そして全世界及び主要経済圏並びに7カ国(日、米、中、印、独、露、サウジアラビア)の2023年から2025年の3年間の成長率の推移を比較する。

\*WEO レポート:

<https://www.imf.org/en/Publications/WEO/Issues/2024/10/22/world-economic-outlook-october-2024>

(今年の世界の成長率は3.2%、前回7月見通しと変わらず!)

### 1. 2024年のGDP成長率(末尾表1-B-2-08参照)

今回10月見通しでは今年の世界の成長率は3.2%とされており、前回7月と変わっていない。IMFは世界経済が安定し続けるものの勢いが欠けそうだと分析している。

経済圏別に見るとEU圏の2024年の成長率は1.1%であり、7月の数値から▲0.1%ダウンしている。またASEAN5カ国は4.5%で前回7月と変化はない。これに対して中東・中央アジア諸国は石油生産の停滞と地域紛争が続き2.4%の低い成長率が見込まれる。

国別では米国2.8%、日本0.3%、ドイツ0.0%、英国1.1%、ロシア3.6%、中国4.8%、インド7.0%である。日本とドイツの成長率は1%以下、EU圏も1.1%にとどまり、いずれも前回7月の見通しを下回っている。このような中で米国の成長率は2.8%と日欧に比べかなり高く、しかも7月の見通しが上方修正されている。米国経済が好調である一方、日本及び欧州の経済は厳しい環境から抜け出せないでいる。

これら先進国に比べBRICS諸国の成長率が高い水準にある。特にインド(7.0%)は世界最高水準であり、世界平均(3.2%)の2倍以上である。中国(4.8%)も世界平均を上回っている。

しかし前回4月に比べると、インドは横滑りであるのに対し、中国は▲0.2%下方修正されており、経済回復は期待を下回る状態を続けている。ロシアはウクライナ戦争下で欧米の経済制裁を受けて厳しい状況にあるが、今年の実績は世界平均を上回る3.6%である。日欧向けの石油・天然ガスの輸出はほぼストップしているが、それに代わりインド、中国向けが増加しており、経済制裁の影響は少ないようである。

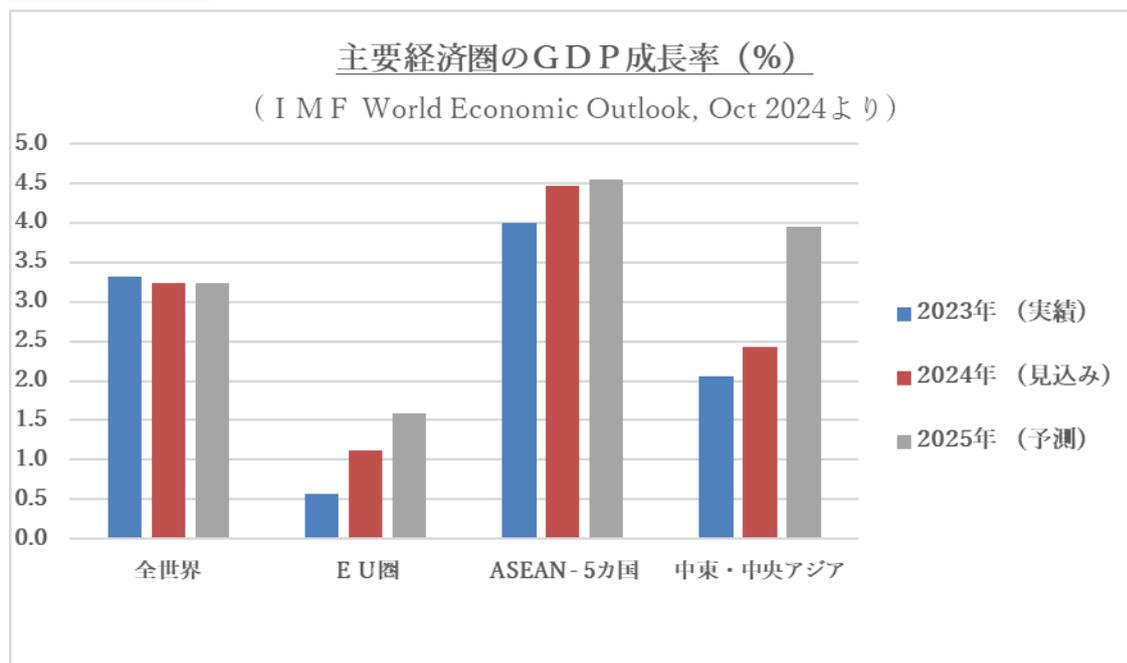
産油国のサウジアラビアは1.5%であり、前回7月見通しの1.7%から若干下方修正されている。OPECプラスは来年初から220万B/Dの自主減産を順次緩和する(即ち増産体制に転じる)としているが、見通しは楽観を許さず石油輸出に頼る同国経済は厳しい状況が続いている。

## 2. 2023年～2025年のGDP成長率(末尾表1-B-2-11参照)

主要な経済圏と国家の昨年(実績見込み)、今年(予測)及び来年(予測)のGDP成長率を見ると以下の通りである。

(横ばいの世界、回復軌道のEU圏、成長維持するASEAN、加速見込みの中東・中央アジア!)

### 2-1 主要経済圏



全世界の3年間の成長率は3.3%(2023年)→3.2%(2024年)→3.2%(2025年)であり横ばいで推移すると見込まれている。EU圏の3年間の成長率は0.6%→1.1%→1.6%とされ、低迷状態であったEUは回復する見通しである。

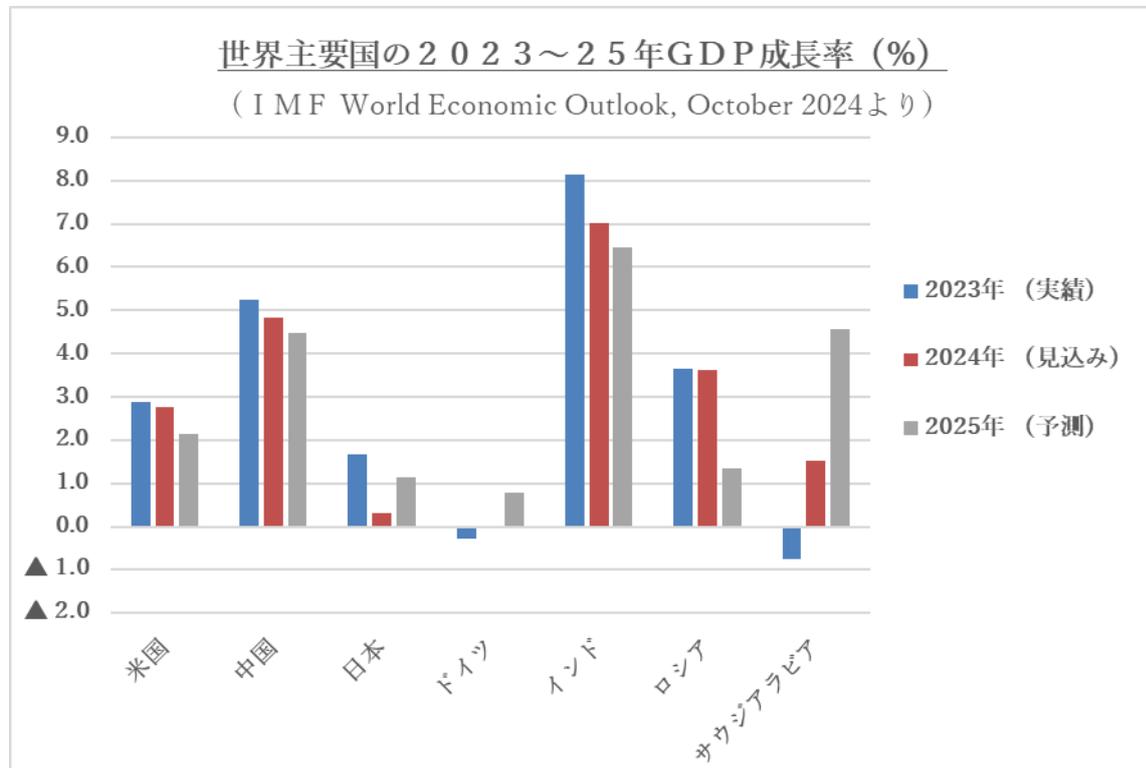
ASEAN5カ国の成長率は4.0%→4.5%→4.5%であり、世界平均を上回る高い成長率を維持する。ASEANはインド及び中国の成長を下支えする世界の成長センターとして引き続き機能していくものと見られる。

産油・ガス国が多い中東及び中央アジアの成長率はエネルギー価格と需要に大きく影響される。3年間の成長率は2.1%→2.4%→3.9%であり今年から来年にかけて成長が加速すると

見込まれている。来年にかけて世界貿易が改善しエネルギー需要が回復するであろうことを示している。

(中国を上回る高い成長率を続けるインド！)

## 2-2 主要国



米国の昨年の成長率は2.9%であったが、今年は2.8%、来年は2.2%である。昨年从今年からは成長を維持し、来年は一服するようである。日本の成長率は1.7%→0.3%→1.1%であり、今年を底に来年は回復すると見込まれているが、いずれにしても低成長から脱出する足掛かりが見えない。日本と同様先進工業国であるドイツの成長率は▲0.3%→0.0%→0.8%と今年から来年にかけてプラス成長を取り戻す見通しであるが、成長率は他国に比べ大きく見劣りしている。

中国の3か年成長率は5.3%→4.8%→4.5%とされている。かつての年10%を超える成長率は無理としても世界平均を上回っており、世界経済をけん引する力を見せている。この中国を上回る成長を見込まれるのがインドである。同国の成長率は8.2%(昨年)→7.0%(今年)→6.5%(来年)と世界平均を大きく上回る7%前後の高い成長を維持する見込みである。

中国、インドなどと共に新興経済国 BRICS の一翼を担ってきたロシアの成長率は、昨年及び今年は3.6%を維持するものの、来年は1.3%に低下するものと予測している。これに対して対照的な様相を呈しているのが同じ産油国のサウジアラビアであり、3か年の成長率は▲0.8%→1.5%→4.6%と年々改善するものと見込んでいる。

以上

本稿に関するコメント、ご意見をお聞かせください。

前田 高行 〒183-0027 東京都府中市本町 2-31-13-601  
Tel/Fax; 042-360-1284, 携帯; 090-9157-3642  
E-mail; [maeda1@jcom.home.ne.jp](mailto:maeda1@jcom.home.ne.jp)

**MENAと世界主要国の GDP 実質成長率(2024-25年)**

国名	2024年10月見通し(今回)			2024年7月見通し(前回)		前回/今回比較	
	2024年 成長率 (%)	2025年 成長率 (%)	増減	2024年 成長率 (%)	2025年 成長率 (%)	2024年 成長率 (%)	2025年 成長率 (%)
全世界	3.2	3.2	0.0	3.2	3.3	0.0	▲ 0.1
米国	2.8	2.2	▲ 0.6	2.6	1.9	0.2	0.3
日本	0.3	1.1	0.8	0.7	1.0	▲ 0.4	0.1
EU圏	1.1	1.6	0.5	1.2	1.8	▲ 0.1	▲ 0.2
ドイツ	0.0	0.8	0.8	0.2	1.3	▲ 0.1	▲ 0.5
英国	1.1	1.5	0.4	0.7	1.5	0.4	▲ 0.0
中国	4.8	4.5	▲ 0.3	5.0	4.5	▲ 0.2	▲ 0.0
インド	7.0	6.5	▲ 0.6	7.0	6.5	0.0	▲ 0.0
ASEAN-5ヶ国	4.5	4.5	0.1	4.5	4.6	0.0	▲ 0.0
ロシア	3.6	1.3	▲ 2.3	3.2	1.5	0.4	▲ 0.2
中東・中央アジア諸国	2.4	3.9	1.5	2.4	4.0	0.0	▲ 0.1
サウジアラビア	1.5	4.6	3.0	1.7	4.7	▲ 0.2	▲ 0.1

**GDP 対前年伸び率(%、2024年10月値)**

	2023 年 (実績)	2024 年 (見込み)	2025 年 (予測)	2024/2023 年	2025/2024 年
全世界	3.3	3.2	3.2	▲ 0.1	0.0
米国	2.9	2.8	2.2	▲ 0.1	▲ 0.6
E U圏	0.6	1.1	1.6	0.6	0.5
ドイツ	▲ 0.3	0.0	0.8	0.3	0.8
日本	1.7	0.3	1.1	▲ 1.4	0.8
英国	0.3	1.1	1.5	0.7	0.4
中国	5.3	4.8	4.5	▲ 0.4	▲ 0.3
インド	8.2	7.0	6.5	▲ 1.1	▲ 0.6
ASEAN-5 ケ国	4.0	4.5	4.5	0.5	0.1
ロシア	3.6	3.6	1.3	▲ 0.0	▲ 2.3
中東・中央アジア諸国	2.1	2.4	3.9	0.4	1.5
サウジアラビア	▲ 0.8	1.5	4.6	2.3	3.0